

前略

熊本地震の発災から、間もなく4カ月となります。

このたびの地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、発災以来、被災された方々のために懸命に支援されている保健師の皆様のご苦勞とご尽力に心から敬意を表したいと思えます。

地震活動は徐々に減衰してはおりますが、いまだ余震が続き、多くの方が不自由な生活を強いられ、様々な困難を抱えながら不安な日々を過ごされていることに、胸が締め付けられる思いです。

復興は、地域の尊厳と心の回復であるといわれており、長期戦となります。

全国保健師長会といたしましても、被災地で奮闘する保健師の皆様がご自身の心と体の疲労をいたわることができるよう、できる限り必要なサポートを行ない、職能団体として何ができるかを問い続けていきたいと思っております。

大変遅くなりましたが、このたび、全国保健師長会から義援金をお送りいたします。

金額はほんの心ばかりですが、何か会員の皆様のお役に立つことに使っていただき、明日からの活力につなげていただければ幸いです。

一日でも早く被災地の復旧・復興が進み、被災された方々が日常の生活を取り戻すことができますよう、そして、保健師の会員の皆様のご健康を、心より祈念致しております。

草々

平成 28 年 8 月 8 日

全国保健師長会

会長 青柳 玲子